

システム名	災対用ビル別情報マップ
章番号	第3章 機能設計書
機能名	
3. 1. 3 地図機能	
<p>3. 1. 3. 1 共通</p> <p>3. 1. 3. 2 検索</p> <p>3. 1. 3. 3 個別震度情報表示</p> <p>3. 1. 3. 4 作図</p> <p>3. 1. 3. 5 任意エリア属性</p> <p>3. 1. 3. 6 PDF出力</p> <p>3. 1. 3. 7 管理</p> <p>別紙__確定震度情報バッチ</p> <p>別紙__参照権限制御</p>	

システム名		災対用ビル別情報マップ	
章番号		第3章 機能設計書	
機能名			
3. 1. 3 地図機能			
画面名		3. 1. 3. 1 共通	
【1】イベント			
No.	項目名	トリガー	処理内容
1	—	初期表示	<p><1.1 前提条件></p> <p>1.1.1 ログイン画面から遷移する。</p> <p>1.1.2 各画面のメニューバーから遷移する。</p> <p><1.2 初期処理></p> <p>1.2.1 ヘッダーバーを初期化する。</p> <ul style="list-style-type: none">・ ログイン中ユーザのユーザ名と組織名1をDBから取得する。・ ユーザ名をヘッダー文言①に、組織名1をヘッダー文言②に表示する。 <p>1.2.2 DBに登録された未削除の災害情報から、災害IDに紐づく、災害情報を抽出する。</p> <p>1.2.3 災害名プルダウンに「システム日時直近かつ、収束年月が未設定」の災害名を選択状態にする。</p> <p>存在しない場合は、災害未選択状態とする。</p> <p>1.2.4 地図の中心座標をログインユーザのビルデータの緯度／経度で設定する。</p> <p>1.2.5 電子地図を表示する。</p> <p>1.2.6 災害に応じて処理分岐する。</p> <p>1.2.6.1 災害が選択された場合、災害および災害の発生期間に紐付く以下データを表示する。</p> <ul style="list-style-type: none">・ 確定震度情報ポリゴン(行政界毎最大)・ ビルアイコン(被災状況による)・ 作図 <p>1.2.6.2 災害が選択されていない場合、以下データを表示する。</p> <ul style="list-style-type: none">・ ビルアイコン(被災なし固定) <p>1.2.7 震度情報取得チェック</p> <ul style="list-style-type: none">・ チェック内容は、【2】の震度情報取得チェックを参照。
2	災害名プルダウン	選択時	<p><2.1 前提条件></p> <p>2.1.1 災害名プルダウンを選択する。</p> <p><2.2 画面表示処理></p> <p>2.2.1 指定された災害名で地図上に対象の情報を表示する。</p>
3	ボタン表示ボタン	クリック時	ヘッダーバー
	<p><3.1 前提条件></p> <p>3.1.1 メニューボタンが表示されていない。</p> <p>3.1.2 ボタン表示ボタンを押下する。</p> <p><3.2 メニューボタン表示処理></p> <p>3.2.1 メニューボタンを表示する。</p> <p>3.2.2 情報パネルが表示されている場合は、情報パネルを再表示する。</p>		

システム名

災対用ビル別情報マップ

章番号

第3章 機能設計書

機能名

3. 1. 3 地図機能

画面名

3. 1. 3. 1 共通

【1】イベント

No.	項目名	トリガー	処理内容
4	ボタン表示ボタン	クリック時	ヘッダーバー
<div><4.1 前提条件></div> <div>4.1.1 メニューボタンが表示されている。</div> <div>4.1.1 ボタン表示ボタンを押下する。</div>			
<div><4.2 メニューボタン非表示処理></div> <div>4.2.1 メニューボタンを閉じる。</div> <div>4.2.2 情報パネルが表示されている場合は、情報パネルを非表示にする。</div>			
5	更新ボタン	クリック時	ヘッダーバー
<div><5.1 前提条件></div> <div>5.1.1 更新ボタンを押下する。</div>			
<div><5.2 更新処理></div> <div>5.2.1 地図画面の初期表示処理を行う。</div> <div>ただし、以下については情報を引き継ぐ。</div> <div><div><div>・ 表示位置</div><div>・ 表示ズームレベル</div><div>・ ヘッダーバー状態</div><div>・ 表示切替メニューの選択肢</div><div>・ 災害名</div></div></div>			
6	ログアウトボタン	クリック時	ヘッダーバー
<div><6.1 前提条件></div> <div>6.1.1 ログアウトボタンを押下する。</div>			
<div><6.2 画面遷移処理></div> <div>6.2.1 ログアウト確認ダイアログを表示する。</div> <div>「ログアウトします。よろしいですか？」OK・キャンセル</div> <div>OK押下：次の処理(6.2.2)へ進む。</div> <div>キャンセル押下：処理を抜ける。</div> <div>6.2.2 ログイン画面へ遷移する。</div>			

システム名

災対用ビル別情報マップ

章番号

第3章 機能設計書

機能名

3. 1. 3 地図機能

画面名

3. 1. 3. 1 共通

【1】イベント

No.	項目名	トリガー	処理内容
7	表示切替メニューボタン	クリック時	
	<7.1 前提条件> 7.1.1 表示切替メニュー画面が表示されていない。 7.1.2 表示切替メニューボタンを押下する。		
	<7.2 表示切替メニュー表示処理> 7.2.1 表示切替メニュー画面を表示する。		
8	表示切替メニューボタン	クリック時	
	<8.1 前提条件> 8.1.1 表示切替メニュー画面が表示されている。 8.1.2 表示切替メニューボタンを押下する。		
	<8.2 表示切替メニュー表示処理> 8.2.1 表示切替メニュー画面を非表示にする。		
9	電子地図ラジオボタン	クリック時	表示切替メニュー
	<9.1 前提条件> 9.1.1 電池地図ラジオボタンを押下する。		
	<9.2 背景地図切替処理> 9.2.1 背景地図を電子地図に切り替える。		
10	航空写真ラジオボタン	クリック時	表示切替メニュー
	<10.1 前提条件> 10.1.1 航空写真ラジオボタンを押下する。		
	<10.2 背景地図切替処理> 10.2.1 背景地図を航空写真に切り替える。		
11	ビルデータ表示切替 チェックボックス	選択時	表示切替メニュー
	<11.1 前提条件> 11.1.1 ビルデータ表示切替チェックボックスを選択(ON)にする。		
	<11.2 アイコン表示切替処理> 11.2.1 ビルレイヤを表示する。		

システム名 災対用ビル別情報マップ

章番号 第3章 機能設計書

機能名

3. 1. 3 地図機能

画面名 3. 1. 3. 1 共通

【1】イベント

No.	項目名	トリガー	処理内容
12	ビルデータ表示切替 チェックボックス	選択解除時	表示切替メニュー
	<12.1 前提条件> 12.1.1 ビルデータ表示切替チェックボックスを選択解除(OFF)にする。		
	<12.2 アイコン表示切替処理> 12.2.1 ビルレイヤを非表示にする。		
13	フリーワード表示切替 チェックボックス	選択時	表示切替メニュー
	<13.1 前提条件> 13.1.1 フリーワード表示切替チェックボックスを選択(ON)にする。		
	<13.2 アイコン表示切替処理> 13.2.1 フリーワードレイヤを表示する。		
14	フリーワード表示切替 チェックボックス	選択解除時	表示切替メニュー
	<14.1 前提条件> 14.1.1 フリーワード表示切替チェックボックスを選択解除(OFF)にする。		
	<14.2 アイコン表示切替処理> 14.2.1 フリーワードレイヤを非表示にする。		
15	震度情報表示切替 チェックボックス	選択時	表示切替メニュー
	<15.1 前提条件> 15.1.1 震度情報表示切替チェックボックスを選択(ON)にする。		
	<15.2 アイコン表示切替処理> 15.2.1 震度情報表示レイヤを表示する。		
16	震度情報表示切替 チェックボックス	選択解除時	表示切替メニュー
	<16.1 前提条件> 16.1.1 震度情報表示切替チェックボックスを選択解除(OFF)にする。		
	<16.2 アイコン表示切替処理> 16.2.1 震度情報表示レイヤを非表示にする。		

システム名

災対用ビル別情報マップ

章番号

第3章 機能設計書

機能名

3. 1. 3 地図機能

画面名

3. 1. 3. 1 共通

【1】イベント

No.	項目名	トリガー	処理内容
17	作図表示切替チェックボックス	選択時	表示切替メニュー
	<17.1 前提条件> 17.1.1 作図表示切替チェックボックスを選択(ON)にする。		
	<17.2 アイコン・図形表示切替処理> 17.2.1 作図(ポイント・ポリライン・ポリゴン・円)のチェックボックスを全て選択(ON)にする。 17.2.2 図形(ポイント・ポリライン・ポリゴン・円)レイヤを表示する。		
18	作図表示切替チェックボックス	選択解除時	表示切替メニュー
	<18.1 前提条件> 18.1.1 作図表示切替チェックボックスを選択解除(OFF)にする。		
	<18.2 アイコン・図形表示切替処理> 18.2.1 作図(ポイント・ポリライン・ポリゴン・円)のチェックボックスを全て選択解除(OFF)にする。 18.2.2 図形(ポイント・ポリライン・ポリゴン・円)レイヤを非表示にする。		
19	ポイント表示切替チェックボックス	選択時	表示切替メニュー
	<19.1 前提条件> 19.1.1 ポイント表示切替チェックボックスを選択(ON)にする。		
	<19.2 アイコン表示切替処理> 19.2.1 ポイントアイコンを表示する。		

システム名 災対用ビル別情報マップ

章番号 第3章 機能設計書

機能名

3. 1. 3 地図機能

画面名 3. 1. 3. 1 共通

【1】イベント

No.	項目名	トリガー	処理内容
20	ポイント表示切替チェックボックス	選択解除時	表示切替メニュー
	<20.1 前提条件> 20.1.1 ポイント表示切替チェックボックスを選択解除(OFF)にする。		
	<20.2 アイコン表示切替処理> 20.2.1 ポイントアイコンを非表示にする。		
21	ポリライン表示切替チェックボックス	選択時	表示切替メニュー
	<21.1 前提条件> 21.1.1 ポリライン表示切替チェックボックスを選択(ON)にする。		
	<21.2 図形表示切替処理> 21.2.1 ポリライン図形を表示する。		
22	ポリライン表示切替チェックボックス	選択解除時	表示切替メニュー
	<22.1 前提条件> 22.1.1 ポリライン表示切替チェックボックスを選択解除(OFF)にする。		
	<22.2 図形表示切替処理> 22.2.1 ポリライン図形を非表示にする。		
23	ポリゴン表示切替チェックボックス	選択時	表示切替メニュー
	<23.1 前提条件> 23.1.1 ポリゴン表示切替チェックボックスを選択(ON)にする。		
	<23.2 図形表示切替処理> 23.2.1 ポリゴン図形を表示する。		
24	ポリゴン表示切替チェックボックス	選択解除時	表示切替メニュー
	<24.1 前提条件> 24.1.1 ポリゴン表示切替チェックボックスを選択解除(OFF)にする。		
	<24.2 図形表示切替処理> 24.2.1 ポリゴン図形を非表示にする。		

システム名 災対用ビル別情報マップ			
章番号 第3章 機能設計書			
機能名			
3. 1. 3 地図機能			
画面名 3. 1. 3. 1 共通			
【1】イベント			
No.	項目名	トリガー	処理内容
25	円表示切替 チェックボックス	選択時	表示切替メニュー
	<25.1 前提条件> 25.1.1 円表示切替チェックボックスを選択(ON)にする。		
	<25.2 図形表示切替処理> 25.2.1 円図形を表示する。		
26	円表示切替 チェックボックス	選択解除時	表示切替メニュー
	<26.1 前提条件> 26.1.1 円表示切替チェックボックスを選択解除(OFF)にする。		
	<26.2 図形表示切替処理> 26.2.1 円図形を非表示にする。		
27	任意エリア属性表示切替 チェックボックス	選択時	表示切替メニュー
	<27.1 前提条件> 27.1.1 任意エリア属性表示切替チェックボックスを選択(ON)にする。		
	<27.2 任意エリア属性表示切替処理> 27.2.1 任意エリア属性の図形を表示する。		
28	任意エリア属性表示切替 チェックボックス	選択解除時	表示切替メニュー
	<28.1 前提条件> 28.1.1 任意エリア属性表示切替チェックボックスを選択解除(OFF)にする。		
	<28.2 任意エリア属性表示切替処理> 28.2.1 任意エリア属性の図形を非表示にする。		
29	フリーワード表示切替 チェックボックス	選択時	表示切替メニュー
	<29.1 前提条件> 29.1.1 フリーワード表示切替チェックボックスを選択(ON)にする。		
	<29.2 フリーワード表示切替処理> 29.2.1 フリーワードの図形を表示する。		

システム名

災対用ビル別情報マップ

章番号

第3章 機能設計書

機能名

3. 1. 3 地図機能

画面名

3. 1. 3. 1 共通

【1】イベント

No.	項目名	トリガー	処理内容
30	フリーワード表示切替 チェックボックス	選択解除時	表示切替メニュー
	<30.1 前提条件> 30.1.1 フリーワード表示切替チェックボックスを選択解除 (OFF)にする。		
	<30.2 フリーワード表示切替処理> 30.2.1 フリーワードの図形を非表示にする。		
31	住所検索ボタン	クリック時	
	<31.1 前提条件> 31.1.1 住所検索ボタンを押下する。		
	<31.2 画面表示処理> 31.2.1 住所検索パネルを表示する。		
32	都道府県プルダウン	選択時	住所検索パネル
	<32.1 前提条件> 32.1.1 都道府県プルダウンを選択する。		
	<32.2 住所検索処理> 32.2.1 選択された都道府県で市区町村プルダウンの内容を抽出する。 32.2.2 抽出した市区町村を市区町村プルダウンに設定する。		
33	市区町村プルダウン	選択時	住所検索パネル
	<33.1 前提条件> 33.1.1 市区町村プルダウンを選択する。		
	<33.2 住所検索処理> 33.2.1 選択された市区町村で50音順プルダウンの内容を抽出する。 33.2.2 抽出した50音を50音順プルダウンに設定する。		
34	50音順プルダウン	選択時	住所検索パネル
	<34.1 前提条件> 34.1.1 50音順プルダウンを選択する。		
	<34.2 住所検索処理> 34.2.1 選択された50音で町名プルダウンの内容を抽出する。 34.2.2 抽出した町名を町名プルダウンに設定する。		

システム名

災対用ビル別情報マップ

章番号

第3章 機能設計書

機能名

3. 1. 3 地図機能

画面名

3. 1. 3. 1 共通

【1】イベント

No.	項目名	トリガー	処理内容
35	町名プルダウン	選択時	住所検索パネル
	＜35.1 前提条件＞ 35.1.1 町名プルダウンを選択する。		
	＜35.2 住所検索処理＞ 35.2.1 選択された町名で丁目プルダウンの内容を抽出する。 35.2.2 抽出した丁目を丁目プルダウンに設定する。		
36	丁目プルダウン	選択時	住所検索パネル
	＜36.1 前提条件＞ 36.1.1 丁目プルダウンを選択する。		
	＜36.2 住所検索処理＞ 36.2.1 選択された丁目番地プルダウンの内容を抽出する。 36.2.2 抽出した番地を番地プルダウンに設定する。		
37	番地プルダウン	選択時	住所検索パネル
	＜37.1 前提条件＞ 37.1.1 番地プルダウンを選択する。		
	＜37.2 住所検索処理＞ 37.2.1 選択された番地で号プルダウンの内容を抽出する。 37.2.2 抽出した号を号プルダウンに設定する。		
38	号プルダウン	選択時	住所検索パネル
	＜38.1 前提条件＞ 38.1.1 号プルダウンを選択する。		
	＜38.2 住所検索処理＞ 38.2.1 何もしない。		
39	検索ボタン(住所検索)	クリック時	住所検索パネル
	＜39.1 前提条件＞ 39.1.1 検索ボタンを押下する。		
	＜39.2 住所検索処理＞ 39.2.1 選択した住所の位置で地図を表示する。		
40	閉じるボタン(住所検索)	クリック時	住所検索パネル
	＜40.1 前提条件＞ 40.1.1 住所検索パネルの閉じるボタンを押下する。		
	＜40.2 検索キャンセル処理＞ 40.2.1 住所検索パネルを閉じる。		

システム名

災対用ビル別情報マップ

章番号

第3章 機能設計書

機能名

3. 1. 3 地図機能

画面名

3. 1. 3. 1 共通

【1】イベント

No.	項目名	トリガー	処理内容
41	凡例ボタン	クリック時	
	<41.1 前提条件> 41.1.1 凡例ボタンを押下する。		
	<41.2 凡例パネル表示処理> 41.2.1 凡例パネルを表示する。		
42	閉じるボタン(凡例)	クリック時	凡例パネル
	<42.1 前提条件> 42.1.1 凡例パネルの閉じるボタンを押下する。		
	<42.2 検索キャンセル処理> 42.2.1 凡例パネルを閉じる。		
43	地図コントロール	クリック時	
	<43.1 前提条件> 43.1.1 地図コントロール(スライダー+)ボタンを押下する。		
	<43.2 地図操作処理> 43.2.1 地図を1段階拡大する。		
44	地図コントロール	クリック時	
	<44.1 前提条件> 44.1.1 地図コントロール(スライダー-)ボタンを押下する。		
	<44.2 地図操作処理> 44.2.1 地図を1段階縮小する。		

システム名 災対用ビル別情報マップ

章番号 第3章 機能設計書

機能名

3. 1. 3 地図機能

画面名 3. 1. 3. 1 共通

【1】イベント

No.	項目名	トリガー	処理内容
45	ビルアイコン吹き出し表示	マウスオーバー	<p>＜45.1 前提条件＞</p> <p>45.1.1 ビルアイコンをマウスオーバーする。</p> <p>＜45.2 吹き出し表示処理＞</p> <p>45.2.1 既に吹き出し表示を行っている場合は解除する。</p> <p>45.2.2 件数上限チェック</p> <p>・チェック内容は、【2】の件数上限チェックを参照。</p> <p>45.2.3 被災状況を吹き出し表示する。</p>
46	ビルアイコン吹き出し解除	クリック	<p>＜46.1 前提条件＞</p> <p>46.1.1 ビルアイコンを吹き出し表示している状態で、地図上をクリックする。</p> <p>＜46.2 吹き出し表示処理＞</p> <p>46.2.1 被災状況の吹き出しを解除する。</p>
47	情報パネル表示	クリック	<p>＜47.1 前提条件＞</p> <p>47.1.1 ビルアイコンをクリックする。</p> <p>＜47.2 吹き出し表示処理＞</p> <p>47.2.1 件数上限チェック(パネル表示)</p> <p>・チェック内容は、【2】の件数上限チェック(パネル表示)を参照。</p> <p>47.2.2 ビルデータリスト、備蓄品リストの情報パネルを表示する。(各上限100件)</p> <p>※備蓄品については輸送済みフラグが”輸送済み”の場合は表示対象外とする。</p>
48	ビルデータCSV出力ボタン (ビルリスト)	クリック	情報パネル(ビルリスト)
	<p>＜48.1 前提条件＞</p> <p>48.1.1 ビルデータCSV出力ボタンを押下する。</p> <p>＜48.2 ビルデータCSV出力処理＞</p> <p>48.2.1 パネル表示外のデータも含めて検索結果のビルデータを全てCSV出力する。</p> <p>出力フォーマットについてはファイル設計「5.2.2 ビルデータCSV」を参照とする。</p>		

システム名

災対用ビル別情報マップ

章番号

第3章 機能設計書

機能名

3. 1. 3 地図機能

画面名

3. 1. 3. 1 共通

【1】イベント

No.	項目名	トリガー	処理内容
49	閉じるボタン (ビルリスト)	クリック	情報パネル(ビルリスト)
	<49.1 前提条件> 49.1.1 閉じるボタンを押下する。		
	<49.2 閉じる処理> 49.2.1 情報パネルを閉じる。 49.2.2 ビルアイコンの表示制限を解除し、全てのビルアイコンを再表示する。		
50	ビルデータ行 (ビルリスト)	クリック	情報パネル(ビルリスト)
	<50.1 前提条件> 50.1.1 情報パネルのビルデータ行をクリックする。		
	<50.2 移動処理> 50.2.1 クリックしたビルデータの位置座標へ移動する。		
51	備蓄品CSV出力ボタン (備蓄品リスト)	クリック	情報パネル(備蓄品リスト)
	<51.1 前提条件> 51.1.1 備蓄品CSV出力ボタンを押下する。		
	<51.2 備蓄品CSV出力処理> 51.2.1 パネル表示外のデータも含めて検索結果の備蓄品データを全てCSV出力する。 出力フォーマットについてはファイル設計「5.2.3 備蓄品CSV」を参照とする。		
52	閉じるボタン (備蓄品リスト)	クリック	情報パネル(備蓄品リスト)
	<52.1 前提条件> 52.1.1 閉じるボタンを押下する。		
	<52.2 閉じる処理> 52.2.1 情報パネルを閉じる。 52.2.2 ビルアイコンの表示制限を解除し、全てのビルアイコンを再表示する。		
53	備蓄品データ行 (備蓄品リスト)	クリック	情報パネル(備蓄品リスト)
	<53.1 前提条件> 53.1.1 情報パネルの備蓄品データ行をクリックする。		
	<53.2 移動処理> 53.2.1 クリックした備蓄品データの位置座標へ移動する。		

システム名		災対用ビル別情報マップ	
章番号		第3章 機能設計書	
		機能名	
		3. 1. 3 地図機能	
画面名		3. 1. 3. 1 共通	
【1】イベント			
No.	項目名	トリガー	処理内容
54	フリーワードアイコン 吹き出し表示	マウスオーバー	
	<54.1 前提条件> 54.1.1 フリーワードアイコンをマウスオーバーする。		
	<54.2 吹き出し表示処理> 54.2.1 既に吹き出し表示を行っている場合は解除する。 54.2.2 件数上限チェック ・チェック内容は、【2】の件数上限チェックを参照。 54.2.3 キー1～キー5を改行して吹き出し表示する。		
55	フリーワード吹き出し解除	クリック	
	<55.1 前提条件> 55.1.1 ビルアイコンを吹き出し表示している状態で、地図上をクリックする。		
	<55.2 吹き出し表示処理> 55.2.1 フリーワードの吹き出しを解除する。		
56	作図パネル表示	クリック	
	<56.1 前提条件> 56.1.1 ポイント、ポリライン、ポリゴン、円のいずれかの図形をクリックする。		
	<56.2 作図パネル表示処理> 56.2.1 作図パネルを表示する。		
57	登録ボタン	クリック	作図パネル
	<57.1 前提条件> 57.1.1 登録ボタンを押下する。		
	<57.2 図形更新処理> 57.2.1 確認ダイアログを表示する。 「作図情報を登録します。よろしいですか？」OK・キャンセル OK押下：次の処理(57.2.2)へ進む。 キャンセル押下：処理を抜ける。 57.2.2 属性チェック ・チェック内容は、【2】の属性チェックを参照。 57.2.3 文字数チェック ・チェック内容は、【2】の文字数チェックを参照。 57.2.4 作図情報排他チェック ・チェック内容は、【2】の作図情報排他チェックを参照。 57.2.5 入力内容をDBに更新する。 57.2.6 完了ダイアログを表示する。 「作図情報を登録しました。」OK OK押下：処理を終了する。 57.2.7 登録した作図をメモ内容付きで地図上に表示する。		

システム名

災対用ビル別情報マップ

章番号

第3章 機能設計書

機能名

3. 1. 3 地図機能

画面名

3. 1. 3. 1 共通

【1】イベント

No.	項目名	トリガー	処理内容
58	キャンセルボタン	クリック	作図パネル
	<58.1 前提条件> 58.1.1 キャンセルボタンを押下する。		
	<58.2 閉じる処理> 58.2.1 作図パネルを閉じる。		
59	編集ボタン	クリック	作図パネル
	<59.1 前提条件> 59.1.1 編集ボタンを押下する。		
	<59.2 作図パネル表示処理> 59.2.1 作図モードに切り替える。		
60	削除ボタン	クリック	作図パネル
	<60.1 前提条件> 60.1.1 削除ボタンを押下する。		
	<60.2 図形削除処理> 60.2.1 削除確認ダイアログを表示する。 「作図情報を削除します。よろしいですか？」OK・NG OK押下：次の処理(60.2.2)へ進む。 NG押下：処理を抜ける。 60.2.2 作図情報排他チェック ・チェック内容は、【2】の作図情報排他チェックを参照。 60.2.3 表示内容をDBから削除する。 60.2.4 完了ダイアログを表示する。 「作図情報を削除しました。」OK OK押下：処理を終了する。		
61	作図ボタン	初期表示	
	<61.1 前提条件> 61.1.1 ログインユーザの権限グループが「作図」の権限あり。		
	<61.2 ボタン表示処理> 61.2.1 作図ボタンを表示する。		

システム名

災対用ビル別情報マップ

章番号

第3章 機能設計書

機能名

3. 1. 3 地図機能

画面名

3. 1. 3. 1 共通

【1】イベント

No.	項目名	トリガー	処理内容
62	任意エリア属性	初期表示	<div><62.1 前提条件> 62.1.1 ログインユーザの権限グループが「任意エリア属性」の権限あり。</div> <div><62.2 ボタン表示処理> 62.2.1 任意エリア属性ボタンを表示する。</div>
63	PDF出力ボタン	初期表示	<div><63.1 前提条件> 63.1.1 ログインユーザの権限グループが「PDF出力」の権限あり。</div> <div><63.2 ボタン表示処理> 63.2.1 PDF出力ボタンを表示する。</div>
64	権限グループ管理	初期表示	<div><64.1 前提条件> 64.1.1 ログインユーザの権限グループが「権限グループ管理」の権限あり。</div> <div><64.2 ボタン表示処理> 64.2.1 権限グループ管理ボタンを表示する。</div>
65	ユーザ管理	初期表示	<div><65.1 前提条件> 65.1.1 ログインユーザの権限グループが「ユーザ管理」の権限あり。</div> <div><65.2 ボタン表示処理> 65.2.1 ユーザ管理ボタンを表示する。</div>
66	ビルデータ登録	初期表示	<div><66.1 前提条件> 66.1.1 ログインユーザの権限グループが「ビルデータ登録」の権限あり。</div> <div><66.2 ボタン表示処理> 66.2.1 ビルデータ登録ボタンを表示する。</div>
67	備蓄品登録	初期表示	<div><67.1 前提条件> 67.1.1 ログインユーザの権限グループが「備蓄品登録」の権限あり。</div> <div><67.2 ボタン表示処理> 67.2.1 備蓄品登録ボタンを表示する。</div>

システム名

災対応ビル別情報マップ

章番号

第3章 機能設計書

機能名

3. 1. 3 地図機能

画面名

3. 1. 3. 1 共通

【1】イベント

No.	項目名	トリガー	処理内容
68	フリーワード	初期表示	
	<68.1 前提条件> 68.1.1 ログインユーザの権限グループが「フリーワード」の権限あり。		
	<68.2 ボタン表示処理> 68.2.1 フリーワードボタンを表示する。		
69	災害一覧	初期表示	
	<69.1 前提条件> 69.1.1 ログインユーザの権限グループが「災害一覧」の権限あり。		
	<69.2 ボタン表示処理> 69.2.1 災害一覧ボタンを表示する。		
70	被災状況登録	初期表示	
	<70.1 前提条件> 70.1.1 ログインユーザの権限グループが「被災状況登録」の権限あり。		
	<70.2 ボタン表示処理> 70.2.1 被災状況登録ボタンを表示する。		

システム名	災対用ビル別情報マップ
章番号	第3章 機能設計書
機能名	
3. 1. 3 地図機能	
画面名	3. 1. 3. 1 共通

【2】チェック処理

No.	名称	OKとなる条件		
		エラーの条件	エラーメッセージ	表示場所
1	震度情報取得チェック	直近の震度情報が正常に動作していること。		
		直近の震度情報が異常終了している。	ME0030	ダイアログ
2	件数上限チェック	検索件数が100件		
		検索件数が101件以上	ME0019	ダイアログ
3	件数上限チェック (パネル表示)	検索件数が100件		
		検索件数が101件以上	ME0029	ダイアログ
4	属性チェック (全半角)	”全半角”項目(※3)について、半角 + 全角(機種依存文字『ローマ数字、マルつき数字、単位、カッコつき文字』等を除く)のみ入力していること。		
		”全半角”項目(※3)が規定文字以外の場合	※3	ダイアログ
5	文字数チェック	メモ欄の文字数が400文字以内であること。		
		メモ欄の文字数が400文字を超過している場合	ME0021	ダイアログ
6	排他チェック (作図)	下記の条件をすべて満たしていること。 ・選択した作図が削除されていないこと。 ・選択した作図が更新されていないこと。		
		下記の条件のいずれかを満たしていること。 ・選択した作図が削除されていること。 ・選択した作図が更新されていること。	ME0016	ダイアログ

※1 エラーメッセージについては、「メッセージ設計」を参照のこと。

※2 エラーメッセージの表示場所については、「開発標準化仕様」を参照のこと。

※3 ”全半角”項目

項目名	エラー番号	トリガー
メモ欄	EA0007	作図パネル(登録ボタン)

システム名

災対用ビル別情報マップ

章番号

第3章 機能設計書

機能名

3. 1. 3 地図機能

画面名

3. 1. 3. 2 検索

【1】イベント

No.	項目名	トリガー	処理内容
1	検索ボタン	クリック時	
	<div><1.1 前提条件></div> <div>1.1.1 検索メニューボタンが表示されていない。</div> <div>1.1.2 検索ボタンを押下する。</div>		
	<div><1.2 メニューボタン表示処理></div> <div>1.2.1 実行中の処理を破棄する。</div> <div>1.2.2 検索メニューボタンを表示する。</div>		
2	検索ボタン	クリック時	
	<div><2.1 前提条件></div> <div>2.1.1 検索メニューボタンが表示されている。</div> <div>2.1.2 検索ボタンを押下する。</div>		
	<div><2.2 メニューボタン閉じる処理></div> <div>2.2.1 検索メニューボタンを閉じる。</div>		
3	検索条件指定ボタン	クリック時	検索メニュー
	<div><3.1 前提条件></div> <div>3.1.1 検索条件指定ボタンを押下する。</div>		
	<div><3.2 画面表示処理></div> <div>3.2.1 検索条件指定画面をモーダル表示する。</div> <div>3.2.2 モーダルエリア外は操作不可とする。</div>		

システム名

災対用ビル別情報マップ

章番号

第3章 機能設計書

機能名

3. 1. 3 地図機能

画面名

3. 1. 3. 2 検索

【1】イベント

No.	項目名	トリガー	処理内容
4	検索ボタン(ビル検索条件指定)	クリック時	検索条件指定画面
<div><4.1 前提条件></div> <div>4.1.1 検索条件指定画面の検索ボタンを押下する。</div>			
<div><4.2 検索処理></div> <div>4.2.1 属性チェック</div> <div>・チェック内容は、【2】の属性チェックを参照。</div> <div>※エラー時は以降の処理は行わない。</div> <div>4.2.2 数量チェック</div> <div>・チェック内容は、【2】の数量チェックを参照。</div> <div>4.2.3 検索条件指定画面における各入力値をAND条件で検索し、ビルデータ、 備蓄品の検索結果を情報パネル(ビルリスト選択)に表示する。</div> <div>※震度条件については表示されている震度情報を対象とする。</div> <div>※備蓄品については輸送済みフラグが”輸送済み”の場合、検索対象外とする。</div> <div>4.2.4 検索条件に合致したビルアイコンのみを表示する。</div> <div>4.2.5 ズームレベルについては、ビルアイコンが全て表示されるよう設定する。</div> <div>4.2.6 任意エリア属性が指定された場合は任意エリア属性ポリゴンを表示する。</div>			
5	キャンセルボタン(ビル検索条件指定)	クリック時	検索条件指定画面
<div><5.1 前提条件></div> <div>5.1.1 ビル検索条件指定画面のキャンセルボタンを押下する。</div>			
<div><5.2 検索キャンセル処理></div> <div>5.2.1 ビル検索条件指定画面を閉じる。</div>			
6	住所(市区町村) (選択検索)	住所(都道府県) 選択後	検索条件指定画面
<div><6.1 前提条件></div> <div>6.1.1 住所(都道府県)が1件選択されている。</div>			
<div><6.2 プルダウン取得処理></div> <div>6.2.1 住所(都道府県)に応じた市区町村を絞り込み表示する。</div>			
7	ビル名 (選択検索)	住所(市区町村) 選択後	検索条件指定画面
<div><7.1 前提条件></div> <div>7.1.1 住所(市区町村)が選択されている。</div>			
<div><7.2 プルダウン取得処理></div> <div>7.2.1 住所(市区町村)に応じたビルを絞り込み表示する。</div>			

システム名

災対用ビル別情報マップ

章番号

第3章 機能設計書

機能名

3. 1. 3 地図機能

画面名

3. 1. 3. 2 検索

【1】イベント

No.	項目名	トリガー	処理内容
8	会社名 (選択検索)	ビル名 選択後	検索条件指定画面
	<8.1 前提条件> 8.1.1 ビル名が選択されている。		
	<8.2 プルダウン取得処理> 8.2.1 ビル名に応じた会社名を取得する。		
9	分類2	分類1選択後	検索条件指定画面
	<9.1 前提条件> 9.1.1 分類1が選択されている。		
	<9.2 プルダウン取得処理> 9.2.1 分類1に応じた分類2を取得する。		
10	エリア属性	初期表示	検索条件指定画面
	<10.1 前提条件> 10.1.1 災害名が選択されている。		
	<10.2 プルダウン取得処理> 10.2.1 災害名に応じた任意エリア属性を取得する。		

システム名

災対用ビル別情報マップ

章番号

第3章 機能設計書

機能名

3. 1. 3 地図機能

画面名

3. 1. 3. 2 検索

【1】イベント

No.	項目名	トリガー	処理内容
11	矩形エリア検索ボタン	クリック時	検索メニュー
	<11.1 前提条件> 11.1.1 矩形エリア検索ボタンを押下する。		
	<11.2 地図操作処理> 11.2.1 地図に矩形エリア検索モードを設定する。		
12	矩形エリア指定	ドラッグ時	
	<12.1 前提条件> 12.1.1 地図がエリア検索モードになっている。 12.1.2 地図上にエリアを指定する。		
	<12.2 画面表示処理> 12.2.1 矩形エリア検索条件指定画面をモーダル表示する。 12.2.2 モーダルエリア外は操作不可とする。		
13	分類2	分類1選択後	矩形エリア検索条件指定画面
	<13.1 前提条件> 13.1.1 分類1が選択されている。		
	<13.2 プルダウン取得処理> 13.2.1 分類1に応じた分類2を絞り込み表示する。		
14	エリア属性	初期表示	矩形エリア検索条件指定画面
	<14.1 前提条件> 14.1.1 災害名が選択されている。		
	<14.2 プルダウン取得処理> 14.2.1 災害名に応じた任意エリア属性を取得する。		

システム名 災対用ビル別情報マップ

章番号 第3章 機能設計書

機能名

3. 1. 3 地図機能

画面名 3. 1. 3. 2 検索

【1】イベント

No.	項目名	トリガー	処理内容
15	検索ボタン(矩形エリア検索条件指定)	クリック時	矩形エリア検索条件指定画面
	<div><15.1 前提条件></div> <div>15.1.1 矩形エリア検索条件指定画面の検索ボタンを押下する。</div>		
	<div><15.2 矩形エリア検索処理></div> <div>15.2.1 属性チェック</div> <div>・チェック内容は、【2】の属性チェックを参照。</div> <div>※エラー時は以降の処理は行わない。</div> <div>15.2.2 数量チェック</div> <div>・チェック内容は、【2】の数量チェックを参照。</div> <div>※エラー時も以降の処理は継続する。</div> <div>15.2.3 矩形エリア検索条件指定画面における各入力値とNo.14で指定したエリアの座標をAND条件で検索し、ビルデータ、備蓄品の検索結果を情報パネル(備蓄品リスト選択)に表示する。</div> <div>※震度条件については表示されている震度情報を対象とする。</div> <div>※備蓄品については輸送済みフラグが”輸送済み”の場合、検索対象外とする。</div> <div>15.2.4 15で指定したエリアを地図上に表示する。</div> <div>15.2.5 検索条件に合致したビルアイコンのみを表示する。</div> <div>15.2.6 任意エリア属性が指定された場合は任意エリア属性ポリゴンを表示する。</div> <div>15.2.7 ズームレベルについては、ビルアイコンが全て表示されるよう設定する。</div>		
16	キャンセルボタン(矩形エリア検索条件指定)	クリック時	矩形エリア検索条件指定画面
	<div><16.1 前提条件></div> <div>16.1.1 矩形エリア検索条件指定画面のキャンセルボタンを押下する。</div>		
	<div><16.2 検索キャンセル処理></div> <div>16.2.1 矩形エリア検索条件指定画面を閉じる。</div>		
17	半径エリア検索ボタン	クリック時	検索メニュー
	<div><17.1 前提条件></div> <div>17.1.1 半径エリア検索ボタンを押下する。</div>		
	<div><17.2 地図操作処理></div> <div>17.2.1 地図に検索中心点選択モードを設定する。</div>		

システム名

災対用ビル別情報マップ

章番号

第3章 機能設計書

機能名

3. 1. 3 地図機能

画面名

3. 1. 3. 2 検索

【1】イベント

No.	項目名	トリガー	処理内容
18	検索中心点指定	クリック時	
	<18.1 前提条件> 18.1.1 地図が検索中心点選択モードになっている。 18.1.2 地図上に検索する中心点を指定する。		
	<18.2 画面表示処理> 18.2.1 半径エリア検索条件指定画面をモーダル表示する。 18.2.2 モーダルエリア外は操作不可とする。		
19	分類2	分類1選択後	矩形エリア検索条件指定画面
	<19.1 前提条件> 19.1.1 分類1が選択されている。		
	<19.2 プルダウン取得処理> 19.2.1 分類1に応じた分類2を絞り込み表示する。		
20	エリア属性	初期表示	半径エリア検索条件指定画面
	<20.1 前提条件> 20.1.1 災害名が選択されている。		
	<20.2 プルダウン取得処理> 20.2.1 災害名に応じた任意エリア属性を取得する。		

システム名 災対用ビル別情報マップ

章番号 第3章 機能設計書

機能名

3. 1. 3 地図機能

画面名 3. 1. 3. 2 検索

【1】イベント

No.	項目名	トリガー	処理内容
21	検索ボタン(半径エリア検索条件指定)	クリック時	半径エリア検索条件指定画面
<div><21.1 前提条件></div> <div>21.1.1 半径エリア検索条件指定画面の検索ボタンを押下する。</div>			
<div><21.2 半径エリア検索処理></div> <div>21.2.1 属性チェック</div> <div>・チェック内容は、【2】の属性チェックを参照。</div> <div>※エラー時は以降の処理は行わない。</div> <div>21.2.2 必須チェック</div> <div>・チェック内容は、【2】の必須チェックを参照。</div> <div>※エラー時は以降の処理は行わない。</div> <div>21.2.3 検索範囲逆転チェック</div> <div>・チェック内容は、【2】の検索範囲逆転チェックを参照。</div> <div>※エラー時は以降の処理は行わない。</div> <div>21.2.4 検索範囲逆転チェック</div> <div>・チェック内容は、【2】の検索範囲逆転チェックを参照。</div> <div>※エラー時は以降の処理は行わない。</div> <div>21.2.5 数量チェック</div> <div>・チェック内容は、【2】の数量チェックを参照。</div> <div>※エラー時も以降の処理は継続する。</div> <div>21.2.6 半径エリア検索条件指定画面における各入力値とNo.18で指定した中心点の座標をAND条件で検索し、ビルデータ、備蓄品の検索結果を情報パネル(備蓄品リスト選択)に表示する。</div> <div>※震度条件については表示されている震度情報を対象とする。</div> <div>21.2.7 16で指定した中心点と半径エリア検索条件指定画面の検索範囲より地図上に検索範囲の円図形を表示する。</div> <div>21.2.7 検索条件に合致したビルアイコンのみを表示する。</div> <div>21.2.8 ズームレベルについては、ビルアイコンが全て表示されるよう設定する。</div> <div>21.2.9 任意エリア属性が指定された場合は任意エリア属性ポリゴンを表示する。</div>			
22	キャンセルボタン(半径エリア検索条件指定)	クリック時	半径エリア検索条件指定画面
<div><22.1 前提条件></div> <div>22.1.1 半径エリア検索条件指定画面のキャンセルボタンを押下する。</div>			
<div><22.2 検索キャンセル処理></div> <div>22.2.1 半径エリア検索条件指定画面を閉じる。</div>			

システム名

災対用ビル別情報マップ

章番号

第3章 機能設計書

機能名

3. 1. 3 地図機能

画面名

3. 1. 3. 2 検索

【1】イベント

No.	項目名	トリガー	処理内容
23	情報パネル表示	クリック	
	<23.1 前提条件> 23.1.1 ビルアイコンをクリックする。		
	<23.2 吹き出し表示処理> 23.2.1 件数上限チェック(パネル表示) ・チェック内容は、【2】の件数上限チェック(パネル表示)を参照。 23.2.2 ビルデータリスト、備蓄品リストの情報パネルを表示する。(各上限100件)		
24	ビルデータCSV出力ボタン (ビルリスト)	クリック	情報パネル(ビルリスト)
	<24.1 前提条件> 24.1.1 ビルデータCSV出力ボタンを押下する。		
	<24.2 ビルデータCSV出力処理> 24.2.1 パネル表示外のデータも含めて検索結果のビルデータを全てCSV出力する。 出力フォーマットについては「5.2.2 ビルデータCSV」を参照とする。		
25	閉じるボタン (ビルリスト)	クリック	情報パネル(ビルリスト)
	<25.1 前提条件> 25.1.1 閉じるボタンを押下する。		
	<25.2 閉じる処理> 25.2.1 情報パネルを閉じる。 25.2.2 検索結果に応じたビルアイコンの表示制限を解除する。(全てのビルアイコン表示)		
26	ビルデータ行 (ビルリスト)	クリック	情報パネル(ビルリスト)
	<26.1 前提条件> 26.1.1 情報パネルのビルデータ行をクリックする。		
	<26.2 移動処理> 26.2.1 クリックしたビルデータの位置座標へ移動する。		
27	備蓄品CSV出力ボタン (備蓄品リスト)	クリック	情報パネル(備蓄品リスト)
	<27.1 前提条件> 27.1.1 備蓄品CSV出力ボタンを押下する。		
	<27.2 備蓄品CSV出力処理> 27.2.1 パネル表示外のデータも含めて検索結果の備蓄品データを全てCSV出力する。 出力フォーマットについては「5.2.3 備蓄品CSV」を参照とする。		

システム名

災対用ビル別情報マップ

章番号

第3章 機能設計書

機能名

3. 1. 3 地図機能

画面名

3. 1. 3. 2 検索

【1】イベント

No.	項目名	トリガー	処理内容
28	閉じるボタン (備蓄品リスト)	クリック	情報パネル(備蓄品リスト)
	<28.1 前提条件> 28.1.1 閉じるボタンを押下する。		
	<28.2 閉じる処理> 28.2.1 情報パネルを閉じる。 28.2.2 検索結果に応じたビルアイコンの表示制限を解除する。(全てのビルアイコン表示)		
29	備蓄品データ行 (備蓄品リスト)	クリック	情報パネル(備蓄品リスト)
	<29.1 前提条件> 29.1.1 情報パネルの備蓄品データ行をクリックする。		
	<29.2 移動処理> 29.2.1 クリックした備蓄品データの位置座標へ移動する。		
30	キャンセルボタン (検索メニュー)	クリック時	検索メニュー
	<30.1 前提条件> 30.1.1 検索メニューのキャンセルボタンを押下する。		
	<30.2 検索キャンセル処理> 30.2.1 各エリア検索モードを解除する。 30.2.2 検索メニューボタンを閉じる。		

システム名 災対用ビル別情報マップ

章番号 第3章 機能設計書

機能名

3. 1. 3 地図機能

画面名 3. 1. 3. 2 検索

【4】チェック処理

No.	名称	OKとなる条件		
		エラーの条件	エラーメッセージ	表示場所
1	必須入力チェック	必須項目(※3)が入力されていること。		
		必須項目(※3)が未入力	※3	ダイアログ
2	属性チェック (全半角)	”全半角”項目(※4)について、半角 + 全角(機種依存文字『ローマ数字、マルつき数字、単位、カッコつき文字』等を除く)のみ入力していること。		
		”全半角”項目(※4)が規定文字 以外の場合	※4	ダイアログ
3	属性チェック (数字)	”数字”項目(※5)について、数字のみ入力していること。		
		上記条件を満たさない。	※5	ダイアログ
4	件数上限チェック (パネル表示)	検索件数が100件		
		検索件数が101件以上	ME0029	ダイアログ
5	検索範囲逆転チェック	検索範囲(FROM) < 検索範囲(TO)で指定されていること。		
		上記以外	ME0023	ダイアログ
6	数量チェック	検索条件に指定した数量が検索結果の備蓄品の合計数量を満たす。		
		上記以外	ME0024	ダイアログ
7	検索範囲上限チェック	検索範囲(TO)の値が設定値以下であること。		
		上記以外	ME0025	ダイアログ

※1 エラーメッセージについては、「メッセージ一覧」を参照のこと。

※2 エラーメッセージの表示場所については、「標準化設計」を参照のこと。

※3 必須項目

項目名	エラー番号	トリガー
検索範囲(FROM)	EA0001	半径エリア検索 (検索ボタン押下)
検索範囲(TO)	EA0001	半径エリア検索 (検索ボタン押下)

※4 ”全半角”項目

項目名	エラー番号	トリガー
住所 ビル名 会社名 商品名	EA0007	検索条件指定 矩形エリア検索 半径エリア検索 (検索ボタン押下)

システム名

災対用ビル別情報マップ

章番号

第3章 機能設計書

機能名

3. 1. 3 地図機能

画面名

3. 1. 3. 2 検索

※5 "数字"項目

項目名	エラー番号	トリガー
数量	EA0002	検索条件指定 矩形エリア検索 半径エリア検索 (検索ボタン押下)
検索範囲 (FROM)	EA0002	半径エリア検索 (検索ボタン押下)
検索範囲 (TO)	EA0002	半径エリア検索 (検索ボタン押下)

システム名 災対用ビル別情報マップ

章番号 第3章 機能設計書

機能名

3. 1. 3 地図機能

画面名 3. 1. 3. 3 個別震度情報表示

【1】イベント

No.	項目名	トリガー	処理内容
1	個別震度情報表示メニューボタン	クリック時	
			<1.1 前提条件> 1.1.1 個別震度情報表示メニューボタンが表示されていない。 1.1.2 個別震度情報表示ボタンを押下する。
			<1.2 個別震度情報表示メニューボタン表示処理> 1.2.1 実行中の処理を破棄する。 1.2.2 個別震度情報表示メニューボタンを表示する。
2	個別震度情報表示メニューボタン	クリック時	
			<2.1 前提条件> 2.1.1 個別震度情報表示メニューボタンが表示されている。 2.1.2 個別震度情報表示ボタンを押下する。
			<2.2 個別震度情報表示メニューボタン閉じる処理> 2.2.1 個別震度情報表示メニューボタンを閉じる。
3	検索ボタン	クリック時	
			<3.1 前提条件> 3.1.1 検索ボタンを押下する。
			<3.2 画面表示処理> 3.2.1 個別震度検索条件指定画面をモーダル表示する。 3.2.2 モーダルエリア外は操作不可とする。
4	検索ボタン	クリック時	個別震度検索条件指定画面
			<4.1 前提条件> 4.1.1 個別震度検索条件指定画面の検索ボタンを押下する。
			<4.2 検索処理> 4.2.1 必須チェック ・チェック内容は、【2】の必須チェックを参照。 4.2.2 年月日逆転チェック ・チェック内容は、【2】の年月日逆転チェックを参照。 4.2.3 選択された震度情報の確定震度情報ポリゴンを表示する。

システム名 災対用ビル別情報マップ

章番号 第3章 機能設計書

機能名

3. 1. 3 地図機能

画面名 3. 1. 3. 3 個別震度情報表示

【1】イベント

No.	項目名	トリガー	処理内容
5	キャンセルボタン	クリック時	個別震度検索条件指定画面
	<5.1 前提条件> 5.1.1 個別震度検索条件指定画面のキャンセルボタンを押下する。		
	<5.2 検索キャンセル処理> 5.2.1 個別震度検索条件指定画面を閉じる。		
6	発生年月(開始)	初期表示	個別震度検索条件指定画面
	<6.1 前提条件> 6.1.1 災害が選択されている。		
	<6.2 プルダウン取得処理> 6.2.1 発生年月(開始)に選択されている災害の発生年月を設定する。		
8	発生年月(終了)	初期表示	個別震度検索条件指定画面
	<8.1 前提条件> 8.1.1 災害が選択されている。		
	<8.2 プルダウン取得処理> 8.2.1 発生年月(終了)に選択されている災害の収束年月を設定する。		
9	震度条件	選択時	個別震度検索条件指定画面
	<9.1 前提条件> 9.1.1 特になし		
	<9.2 プルダウン取得処理> 9.2.1 発生年月に応じた震度情報を取得する。		
10	クリアボタン	初期表示	
	<10.1 前提条件> 10.1.1 災害が選択されている。		
	<10.2 ボタン表示処理> 10.2.1 表示する。		

システム名

災対用ビル別情報マップ

章番号

第3章 機能設計書

機能名

3. 1. 3 地図機能

画面名

3. 1. 3. 3 個別震度情報表示

【1】イベント

No.	項目名	トリガー	処理内容
11	クリアボタン	クリック	
	<11.1 前提条件>		
	11.1.1 クリアボタンを押下する。		
	<11.2 ボタン表示処理>		
11.2.1 表示されている確定震度情報ポリゴンを非表示にする。			
11.2.2 確定震度情報ポリゴン(市区町村毎最大)を表示する。			

【2】チェック処理

No.	名称	OKとなる条件		
		エラーの条件	エラーメッセージ	表示場所
1	必須入力チェック	震度条件が選択されていること。		
		震度条件が未選択	ME0028	ダイアログ
2	年月日逆転チェック	発生年月(開始) <= 発生年月(終了)		
		上記以外	ME0027	ダイアログ

※1 エラーメッセージについては、「メッセージ一覧」を参照のこと。

※2 エラーメッセージの表示場所については、「標準化設計」を参照のこと。

システム名 災対用ビル別情報マップ

章番号 第3章 機能設計書

機能名

3. 1. 3 地図機能

画面名 3. 1. 3. 4 作図

【1】イベント

No.	項目名	トリガー	処理内容
1	作図ボタン	クリック時	
	<1.1 前提条件> 1.1.1 作図メニューボタンが表示されていない。 1.1.2 作図ボタンを押下する。		
	<1.2 メニューボタン表示処理> 1.2.1 実行中の処理を破棄する。 1.2.2 作図メニューボタンを表示する。		
2	作図ボタン	クリック時	
	<2.1 前提条件> 2.1.1 作図メニューボタンが表示されている。 2.1.2 作図ボタンを押下する。		
	<2.2 メニューボタン非表示処理> 2.2.1 作図メニューボタンを閉じる。		
3	ポイントボタン	クリック時	
	<3.1 前提条件> 3.1.1 ポイントボタンを押下する。		
	<3.2 画面表示処理> 3.2.1 地図にポイント設定モードを設定する。		
4	ポイント設定	クリック時	
	<4.1 前提条件> 4.1.1 地図がポイント設定モードになっている。 4.1.2 地図上にポイントを設定する。		
	<4.2 画面表示処理> 4.2.1 作図パネルを表示する。		
5	ポリラインボタン	クリック時	
	<5.1 前提条件> 5.1.1 ポリラインボタンを押下する。		
	<5.2 画面表示処理> 5.2.1 地図にポリライン設定モードを設定する。		

システム名 災対用ビル別情報マップ

章番号 第3章 機能設計書

機能名

3. 1. 3 地図機能

画面名 3. 1. 3. 4 作図

【1】イベント

No.	項目名	トリガー	処理内容
6	ポリライン設定	ダブルクリック時	
	<div><6.1 前提条件></div> <div>6.1.1 地図がポリライン設定モードになっている。</div> <div>6.1.2 地図上にポリラインを設定する。</div>		
	<div><6.2 画面表示処理></div> <div>6.2.1 作図パネルを表示する。</div>		
7	ポリゴンボタン	クリック時	
	<div><7.1 前提条件></div> <div>7.1.1 ポリゴンボタンを押下する。</div>		
	<div><7.2 画面表示処理></div> <div>7.2.1 地図にポリゴン設定モードを設定する。</div>		
8	ポリゴン設定	ダブルクリック時	
	<div><8.1 前提条件></div> <div>8.1.1 地図がポリゴン設定モードになっている。</div> <div>8.1.2 地図上にポリゴンを設定する。</div>		
	<div><8.2 画面表示処理></div> <div>8.2.1 作図パネルを表示する。</div>		
9	円ボタン	クリック時	
	<div><9.1 前提条件></div> <div>9.1.1 円ボタンを押下する。</div>		
	<div><9.2 画面表示処理></div> <div>9.2.1 地図に円設定モードを設定する。</div>		
10	円設定	クリック時	
	<div><10.1 前提条件></div> <div>10.1.1 地図が円設定モードになっている。</div> <div>10.1.2 地図上に円を設定する。</div>		
	<div><10.2 画面表示処理></div> <div>10.2.1 作図パネルを表示する。</div>		

システム名 災対用ビル別情報マップ

章番号 第3章 機能設計書

機能名

3. 1. 3 地図機能

画面名 3. 1. 3. 4 作図

【1】イベント

No.	項目名	トリガー	処理内容
11	登録ボタン	クリック	作図パネル
<div><11.1 前提条件></div> <div>11.1.1 登録ボタンを押下する。</div>			
<div><11.2 図形登録処理></div> <div>11.2.1 確認ダイアログを表示する。 「作図情報を登録します。よろしいですか？」OK・キャンセル OK押下：次の処理(11.2.2)へ進む。 キャンセル押下：処理を抜ける。</div> <div>11.2.2 属性チェック ・チェック内容は、【2】の属性チェックを参照。</div> <div>11.2.3 文字数チェック ・チェック内容は、【2】の文字数チェックを参照。</div> <div>11.2.4 入力内容をDBに更新する。</div> <div>11.2.5 完了ダイアログを表示する。 「作図情報を登録しました。」OK OK押下：処理を終了する。</div> <div>11.2.6 登録した作図をメモ内容付きで地図上に表示する。</div>			
12	キャンセルボタン	クリック	作図パネル
<div><12.1 前提条件></div> <div>12.1.1 キャンセルボタンを押下する。</div>			
<div><12.2 閉じる処理></div> <div>12.2.1 作図パネルを閉じる。</div>			
13	キャンセルボタン (検索メニュー)	クリック時	検索メニュー
<div><13.1 前提条件></div> <div>13.1.1 検索メニューのキャンセルボタンを押下する。</div>			
<div><13.2 検索キャンセル処理></div> <div>13.2.1 各エリア検索モードを解除する。</div> <div>13.2.2 検索メニューボタンを閉じる。</div>			

システム名

災対用ビル別情報マップ

章番号

第3章 機能設計書

機能名

3. 1. 3 地図機能

画面名

3. 1. 3. 4 作図

【2】チェック処理

No.	名称	OKとなる条件		
		エラーの条件	エラーメッセージ	表示場所
1	属性チェック (全半角)	”全半角”項目(※3)について、半角 + 全角(機種依存文字『ローマ数字、マルつき数字、単位、カッコつき文字』等を除く)のみ入力していること。		
		”全半角”項目(※3)が規定文字 以外の場合	※3	ダイアログ
2	文字数チェック	メモ欄の文字数が400文字以内であること。		
		メモ欄の文字数が400文字を超過 している場合	ME0021	ダイアログ

※1 エラーメッセージについては、「メッセージ一覧」を参照のこと。

※2 エラーメッセージの表示場所については、「標準化設計」を参照のこと。

※3 ”全半角”項目

項目名	エラー番号	トリガー
メモ欄	EA0007	作図パネル(登録ボタン)

システム名

災対用ビル別情報マップ

章番号

第3章 機能設計書

機能名

3. 1. 3 地図機能

画面名

3. 1. 3. 5 任意エリア属性

【1】イベント

No.	項目名	トリガー	処理内容
1	任意エリア属性ボタン	クリック時	
	<1.1 前提条件> 1.1.1 任意エリア属性メニューボタンが表示されていない。 1.1.2 任意エリア属性ボタンを押下する。		
	<1.2 メニューボタン表示処理> 1.2.1 実行中の処理を破棄する。 1.2.2 任意エリア属性メニューボタンを表示する。		
2	任意エリア属性ボタン	クリック時	
	<2.1 前提条件> 2.1.1 任意エリア属性メニューボタンが表示されている。 2.1.2 任意エリア属性ボタンを押下する。		
	<2.2 メニューボタン非表示処理> 2.2.1 任意エリア属性メニューボタンを閉じる。		
3	登録ボタン	クリック時	
	<3.1 前提条件> 3.1.1 登録ボタンを押下する。		
	<3.2 画面表示処理> 3.2.1 地図に任意エリア属性登録モードを設定する。 3.2.2 地図に行政区画を表示する。 3.2.3 任意エリア属性パネルを表示する。		
4	行政区画色塗り	地図クリック時	
	<4.1 前提条件> 4.1.1 任意エリア属性登録モードを設定済み。 4.1.2 地図上の行政区画をクリックする。		
	<4.2 色選択処理> 4.2.1 クリックした行政区画を色塗りする。		
5	行政区画色塗り解除	地図クリック時	
	<5.1 前提条件> 5.1.1 任意エリア属性登録モードを設定済み。 5.1.2 地図上の色塗り済みの行政区画をクリックする。		
	<5.2 色選択処理> 5.2.1 クリックした行政区画の色塗りを解除する。		

システム名

災対用ビル別情報マップ

章番号

第3章 機能設計書

機能名

3. 1. 3 地図機能

画面名

3. 1. 3. 5 任意エリア属性

【1】イベント

No.	項目名	トリガー	処理内容
6	色選択ボタン	クリック時	任意エリア属性パネル
	<div><6.1 前提条件></div> <div>6.1.1 任意エリア属性パネルの色選択ボタンを押下する。</div>		
	<div><6.2 色選択処理></div> <div>6.2.1 任意エリア属性パネルのRGBに色選択したRGB値を設定する。</div> <div>6.2.2 任意エリア属性パネルの選択している色に押下した色を設定する。</div>		
7	RGB	入力後	任意エリア属性パネル
	<div><7.1 前提条件></div> <div>7.1.1 任意エリア属性パネルのRGBを入力する。</div>		
	<div><7.2 色選択処理></div> <div>7.2.1 任意エリア属性パネルの選択している色に押下した色を設定する。</div>		
8	登録ボタン	クリック時	任意エリア属性パネル
	<div><8.1 前提条件></div> <div>8.1.1 地図が任意エリア属性設定モードになっている。</div> <div>8.1.2 任意エリア属性パネルの登録ボタンを押下する。</div>		
	<div><8.2 任意エリア属性登録処理></div> <div>8.2.1 登録確認ダイアログを表示する。</div> <div>「任意エリア属性を登録します。よろしいですか？」OK・NG</div> <div>OK押下：次の処理(8.2.2)へ進む。</div> <div>NG押下：処理を抜ける。</div> <div>8.2.2 属性チェック</div> <div>・チェック内容は、【2】の属性チェックを参照。</div> <div>8.2.3 文字数チェック</div> <div>・チェック内容は、【2】の文字数チェックを参照。</div> <div>8.2.4 RGB範囲チェック</div> <div>・チェック内容は、【2】のRGB範囲チェックを参照。</div> <div>8.2.5 任意エリア属性一意チェック</div> <div>・チェック内容は、【2】の任意エリア属性一意チェックを参照。</div> <div>8.2.6 入力内容をDBに登録する。</div> <div>8.2.7 完了ダイアログを表示する。</div> <div>「任意エリア属性を登録しました。」OK</div> <div>OK押下：登録した任意エリア属性を地図上に表示する。</div>		

システム名

災対用ビル別情報マップ

章番号

第3章 機能設計書

機能名

3. 1. 3 地図機能

画面名

3. 1. 3. 5 任意エリア属性

【1】イベント

No.	項目名	トリガー	処理内容
9	キャンセルボタン	クリック時	任意エリア属性パネル
	<9.1 前提条件> 9.1.1 キャンセルボタンを押下する。		
	<9.2 閉じる処理> 9.2.1 任意エリア属性パネルを閉じる。 9.2.2 任意エリア属性登録モードを解除する。		
10	検索ボタン	クリック時	
	<10.1 前提条件> 10.1.1 検索ボタンを押下する。		
	<10.2 画面表示処理> 10.2.1 任意エリア属性検索条件指定画面をモーダル表示する。 10.2.2 モーダルエリア外は操作不可とする。		
11	エリア属性	初期表示	任意エリア属性検索条件指定画面
	<11.1 前提条件> 11.1.1 任意エリア属性検索条件指定画面を表示する。		
	<11.2 検索処理> 11.2.1 選択されている災害名に紐付く任意エリア属性を取得する。		
12	検索ボタン	クリック時	任意エリア属性検索条件指定画面
	<12.1 前提条件> 12.1.1 任意エリア属性検索条件指定画面の検索ボタンを押下する。		
	<12.2 検索処理> 12.2.1 必須チェック ・チェック内容は、【2】の必須チェックを参照。 12.2.2 選択された任意エリア属性を表示する。 12.2.3 任意エリア属性パネル(更新)を表示する。		
13	キャンセルボタン	クリック時	任意エリア属性検索条件指定画面
	<13.1 前提条件> 13.1.1 任意エリア属性検索条件指定画面のキャンセルボタンを押下する。		
	<13.2 検索キャンセル処理> 13.2.1 任意エリア属性検索条件指定画面を閉じる。		

システム名 災対用ビル別情報マップ

章番号 第3章 機能設計書

機能名

3. 1. 3 地図機能

画面名 3. 1. 3. 5 任意エリア属性

【1】イベント

No.	項目名	トリガー	処理内容
14	登録ボタン	クリック時	任意エリア属性パネル(検索後)
<div><14.1 前提条件></div> <div>14.1.1 地図が任意エリア属性設定モードになっている。</div> <div>14.1.2 任意エリア属性パネルの登録ボタンを押下する。</div>			
<div><14.2 任意エリア属性更新処理></div> <div>14.2.1 登録確認ダイアログを表示する。</div> <div>「任意エリア属性を登録します。よろしいですか？」OK・NG</div> <div>OK押下: 次の処理(14.2.2)へ進む。</div> <div>NG押下: 処理を抜ける。</div> <div>14.2.2 属性チェック</div> <div>・チェック内容は、【2】の属性チェックを参照。</div> <div>14.2.3 文字数チェック</div> <div>・チェック内容は、【2】の文字数チェックを参照。</div> <div>14.2.4 任意エリア属性一意チェック</div> <div>・チェック内容は、【2】の任意エリア属性一意チェックを参照。</div> <div>14.2.5 RGB範囲チェック</div> <div>・チェック内容は、【2】のRGB範囲チェックを参照。</div> <div>14.2.6 任意エリア属性排他チェック</div> <div>・チェック内容は、【2】の任意エリア属性排他チェックを参照。</div> <div>14.2.7 入力内容をDBに更新する。</div> <div>14.2.8 完了ダイアログを表示する。</div> <div>「任意エリア属性を登録しました。」OK</div> <div>OK押下: 更新した任意エリア属性を地図上に表示する。</div>			
15	キャンセルボタン	クリック時	任意エリア属性パネル(検索後)
<div><15.1 前提条件></div> <div>15.1.1 キャンセルボタンを押下する。</div>			
<div><15.2 閉じる処理></div> <div>15.2.1 任意エリア属性パネルを閉じる。</div> <div>15.2.2 任意エリア属性登録モードを解除する。</div>			
16	編集ボタン	クリック	任意エリア属性パネル(検索後)
<div><16.1 前提条件></div> <div>16.1.1 編集ボタンを押下する。</div>			
<div><16.2 作図パネル表示処理></div> <div>16.2.1 任意エリア属性登録モードに切り替える。</div>			

システム名	災対用ビル別情報マップ		
章番号	第3章 機能設計書		
機能名			
3. 1. 3 地図機能			
画面名	3. 1. 3. 5 任意エリア属性		
【1】イベント			
No.	項目名	トリガー	処理内容
17	削除ボタン	クリック	任意エリア属性パネル(検索後)
<div><17.1 前提条件></div> <div>17.1.1 削除ボタンを押下する。</div>			
<div><17.2 任意エリア属性削除処理></div> <div>17.2.1 確認ダイアログを表示する。</div> <div>「任意エリア属性を削除します。よろしいですか?」OK・キャンセル</div> <div>OK押下: 次の処理(17.2.2)へ進む。</div> <div>キャンセル押下: 処理を抜ける。</div> <div>17.2.2 作図情報排他チェック</div> <div>・チェック内容は、【2】の任意エリア属性排他チェックを参照。</div> <div>17.2.3 表示内容をDBから削除する。</div> <div>17.2.4 完了ダイアログを表示する。</div> <div>「任意エリア属性を削除しました。」OK</div> <div>OK押下: 処理を終了する。</div>			

システム名 災対用ビル別情報マップ			
章番号 第3章 機能設計書			
機能名			
3. 1. 3 地図機能			
画面名 3. 1. 3. 5 任意エリア属性			
【2】チェック処理			
No.	名称	OKとなる条件	
		エラーの条件	エラーメッセージ 表示場所
1	必須入力チェック	必須項目(※3)が入力されていること。	
		必須項目(※3)が未入力	※3 ダイアログ
2	属性チェック (全半角)	”全半角”項目(※3)について、半角 + 全角(機種依存文字『ローマ数字、マルつき数字、単位、カッコつき文字』等を除く)のみ入力していること。	
		”全半角”項目(※3)が規定文字以外の場合	※4 ダイアログ
3	属性チェック (数字)	”数字”項目(※5)について、数字のみ入力していること。	
		上記条件を満たさない。	※5 ダイアログ
4	文字数チェック	メモ欄の文字数が400文字以内であること。	
		メモ欄の文字数が400文字を超過している場合	EA0021 ダイアログ
5	任意エリア属性一意 チェック	同じ災害ID、エリア属性を持つ未削除の任意エリア属性が存在しないこと。	
		上記を満たさない。	EA0014 ダイアログ
6	任意エリア属性排除 チェック	下記の条件をすべて満たしていること。 ・選択した任意エリア属性が削除されていないこと。 ・選択した任意エリア属性が更新されていないこと。	
		下記の条件のいずれかを満たしていること。 ・選択した任意エリア属性が削除されていること。 ・選択した任意エリア属性が更新されていること。	ME0016 ダイアログ
7	RGB範囲チェック	R、G、Bが0～255の範囲で入力されていること。	
		上記条件を満たさない。	ME0026 ダイアログ

※1 エラーメッセージについては、「メッセージ一覧」を参照のこと。

※2 エラーメッセージの表示場所については、「標準化設計」を参照のこと。

※3 必須項目

項目名	エラー番号	トリガー
エリア属性	EA0001	任意エリア属性検索条件指定画面(検索ボタン)
エリア属性	EA0001	任意エリア属性パネル(登録ボタン)

※4 ”全半角”項目

項目名	エラー番号	トリガー
エリア属性 メモ欄	EA0007	任意エリア属性パネル(登録ボタン)

システム名	災対用ビル別情報マップ		
章番号	第3章 機能設計書		
機能名			
3. 1. 3 地図機能			
画面名	3. 1. 3. 5 任意エリア属性		
※5 “数字”項目			
項目名	エラー番号	トリガー	
R	EA0002	任意エリア属性パネル (登録ボタン)	
G	EA0002	任意エリア属性パネル (登録ボタン)	
B	EA0002	任意エリア属性パネル (登録ボタン)	

システム名	災対用ビル別情報マップ		
章番号	第3章 機能設計書		
機能名			
3. 1. 3 地図機能			
画面名	3. 1. 3. 6 PDF出力		
【1】イベント			
No.	項目名	トリガー	処理内容
1	PDF出力ボタン	クリック時	<p><1.1 前提条件> 1.1.1 特になし</p> <p><1.2 メニューボタン表示処理> 1.2.1 実行中の処理を破棄する。 1.2.2 登録確認ダイアログを表示する。 「PDFファイルを出力します。よろしいですか？」OK・NG OK押下：次の処理(1.2.2)へ進む。 NG押下：処理を抜ける。 1.2.3 PDFファイルを生成する。 1.2.4 情報パネルが表示されている場合、ビルデータCSVおよび備蓄品CSVを生成する。 ※表示外の100件以外も対象とする。 1.2.5 PDFファイルおよびCSVファイルをZIP形式で圧縮してダウンロードを開始する。 ※PDFファイルフォーマットについては、帳票設計「4.2.1 地図(PDF出力)」を参照。 ※CSVファイルのフォーマットについては、ファイル設計「5.2.2 ビルデータCSV」、 「5.2.3 備蓄品CSV」を参照。 ※出力するZIPファイル名は地図情報[災害名]_YYYYMMDDHHMISS.zipとする。</p>

システム名

災対用ビル別情報マップ

章番号

第3章 機能設計書

機能名

3. 1. 3 地図機能

画面名

3. 1. 3. 7 管理

【1】イベント

No.	項目名	トリガー	処理内容
1	管理ボタン	クリック時	
	<div><1.1 前提条件></div> <div>1.1.1 管理メニューボタンが表示されていない。</div> <div>1.1.2 管理ボタンを押下する。</div>		
	<div><1.2 メニューボタン表示処理></div> <div>1.2.1 実行中の処理を破棄する。</div> <div>1.2.2 管理メニューボタンを表示する。</div>		
2	管理ボタン	クリック時	
	<div><2.1 前提条件></div> <div>2.1.1 管理メニューボタンが表示されている。</div> <div>2.1.2 管理ボタンを押下する。</div>		
	<div><2.2 メニューボタン非表示処理></div> <div>2.2.1 管理メニューボタンを閉じる。</div>		
3	権限グループ管理ボタン	クリック時	
	<div><3.1 前提条件></div> <div>3.1.1 権限グループ管理ボタンを押下する。</div>		
	<div><3.2 画面遷移処理></div> <div>3.2.1 グループ一覧画面に遷移する。</div>		
4	ユーザ管理ボタン	クリック時	
	<div><4.1 前提条件></div> <div>4.1.1 ユーザ管理ボタンを押下する。</div>		
	<div><4.2 画面遷移処理></div> <div>4.2.1 ユーザー一覧画面に遷移する。</div>		
5	ビルデータ登録ボタン	クリック時	
	<div><5.1 前提条件></div> <div>5.1.1 ビルデータ登録ボタンを押下する。</div>		
	<div><5.2 画面遷移処理></div> <div>5.2.1 ビル一覧画面に遷移する。</div>		

システム名

災対用ビル別情報マップ

章番号

第3章 機能設計書

機能名

3. 1. 3 地図機能

画面名

3. 1. 3. 7 管理

【1】イベント

No.	項目名	トリガー	処理内容
6	備蓄品登録ボタン	クリック時	
	<6.1 前提条件> 6.1.1 備蓄品登録ボタンを押下する。		
	<6.2 画面遷移処理> 6.2.1 備蓄品一覧画面に遷移する。		
7	フリーワードボタン	クリック時	
	<7.1 前提条件> 7.1.1 フリーワードボタンを押下する。		
	<7.2 画面遷移処理> 7.2.1 フリーワード一覧画面に遷移する。		
8	災害一覧ボタン	クリック時	
	<8.1 前提条件> 8.1.1 災害一覧ボタンを押下する。		
	<8.2 画面遷移処理> 8.2.1 災害一覧画面に遷移する。		
9	被災状況登録ボタン	クリック時	
	<9.1 前提条件> 9.1.1 被災状況登録ボタンを押下する。		
	<9.2 画面遷移処理> 9.2.1 被災状況一覧画面に遷移する。		

システム名

災対用ビル別情報マップ

章番号

第3章 機能設計書

機能名

3. 1. 3 地図機能

画面名

別紙 確定震度情報取得バッチ

1 入力

No.	項目名	項目
1	start	取得対象日時の最小値
2	end	取得対象日時の最大値
3	eventid	取得対象のイベントID ※任意
4	maxcount	条件に該当する最大個数(日付の新しい順) ※任意

2 処理内容

処理内容

1	バッチ処理	メイン処理	
---	-------	-------	--

<1.1 前提条件>
1.1.1 バッチメインタスクから呼び出される。

<1.2 メイン処理>
1.2.1 データ取得
(1) 日付作成
(A) システム日付を取得する。
(B) (A)で取得した日付の1時間前を算出し、分に「00」、秒に「00」を設定する。
(C) (C)で設定した日付をstart日付とする。
(D) (A)で取得した日付をend日付とする。

(2) 確定震度情報を取得する。
「3 確定震度情報取得」を参照。

1.2.2 データ集計
(1) 確定震度情報のJSONオブジェクトで取得したデータを読み込み、データを読み込み終わるまで、以下 (A) ～ (C) の処理を繰り返す。
(A) statusの値を取得する。
(a) 0の場合
取得成功処理を行う。
(b) 1の場合
errorMessageをエラーログへ設定
(c) 9の場合
処理を行わない。

(B) 確定震度情報を取得する。
「3 確定震度情報取得
1.4 確定震度情報のJSONオブジェクト(kakuteiShindo)」を参照。

(C) 確定震度情報をDBへ保存する。
「4 震度確定情報登録」を参照。

1.2.3 例外処理
予期せぬ例外が発生した場合
5 リターンコード(status) No.2 参照
エラーログ出力
処理終了

システム名

災対用ビル別情報マップ

章番号

第3章 機能設計書

機能名

3. 1. 3 地図機能

画面名

別紙 確定震度情報取得バッチ

1. 2. 4 正常処理

5 リターンコード(status) No.1 参照

5 リターンコード(status) No.3 参照

処理終了

3 確定震度情報取得

No.

名称

処理内容

1

確定震度情報取得

1. 1 リクエストURL形式

http://〇〇〇〇/××××/kakuteishindo. jsp?
start=yyyymmddhhmiss&end=yyyymmddhhmiss
※パラメータは「2 処理内容 1. 2. 1(1)で取得」
※eventId, maxcountを設定する場合、
「&eventId=××&maxcount=×」を追記する。

1. 2 JSONオブジェクト全体

No.

項目名

取得元

1

kakuteiShindoCount

確定震度情報の件数

2

kakuteiShindo

確定震度情報のJSONオブジェクトの配列

3

status

取得処理結果

4

errorMessage

取得処理失敗時のエラーメッセージ

1. 3 ソート順

発生日時の降順

1. 4 確定震度情報のJSONオブジェクト(kakuteiShindo)

No.

項目名

取得元

1

eventId

地震イベントID

2

originTime

発生日時

3

shinnouName

震央地名名称

4

shinnouLat

震央緯度

5

shinnouLon

震央経度

6

shinnouDepth

震源の深さ

7

magnitude

マグニチュード

8

kansokuChitenCount

震度観測地点の件数

9

kansokuChiten

震度観測地点

1. 6 ソート順

ソートせず、データが得られた順番に並ぶ

1. 7 震度観測地点のJSONオブジェクト(kansokuChiten)

No.

項目名

取得元

1

prefCode

都道府県コード

2

cityCode

市区町村コード

3

shindo

市区町村内の最大震度

システム名		災対用ビル別情報マップ																																																																		
章番号		第3章 機能設計書																																																																		
機能名																																																																				
3. 1. 3 地図機能																																																																				
画面名		別紙 確定震度情報取得バッチ																																																																		
4 震度確定情報登録																																																																				
No.	名称	処理内容																																																																		
1	震度確定情報登録	震度確定情報を登録 1.1 登録者ID, 更新者IDの設定 touroku_userid, koushin_useridを「batch」に設定。 1.2 t_shindo_oya <table> <tr> <th>No.</th><th>項目名</th><th>格納値</th></tr> <tr><td>1</td><td>eventId</td><td>地震イベントID</td></tr> <tr><td>2</td><td>originTime</td><td>発生日時</td></tr> <tr><td>3</td><td>max_shindo</td><td>最大震度</td></tr> <tr><td>4</td><td>shinnouName</td><td>震央地名名称</td></tr> <tr><td>5</td><td>shinnouLat</td><td>震央緯度</td></tr> <tr><td>6</td><td>shinnouLon</td><td>震央経度</td></tr> <tr><td>7</td><td>shinnouDepth</td><td>震源の深さ</td></tr> <tr><td>8</td><td>magnitude</td><td>マグニチュード</td></tr> <tr><td>9</td><td>touroku_dt</td><td>登録日時</td></tr> <tr><td>10</td><td>touroku_userid</td><td>登録者ID</td></tr> <tr><td>11</td><td>koushin_dt</td><td>更新日時</td></tr> <tr><td>12</td><td>koushin_userid</td><td>更新者ID</td></tr> </table> 1.3 t_shindo_ko <table> <tr> <th>No.</th><th>項目名</th><th>格納値</th></tr> <tr><td>1</td><td>eventId</td><td>イベントID</td></tr> <tr><td>2</td><td>prefCode</td><td>都道府県コード</td></tr> <tr><td>3</td><td>cityCode</td><td>市区町村コード</td></tr> <tr><td>4</td><td>shindo</td><td>市区町村最大震度</td></tr> <tr><td>5</td><td>touroku_dt</td><td>登録日時</td></tr> <tr><td>6</td><td>touroku_userid</td><td>登録者ID</td></tr> <tr><td>7</td><td>koushin_dt</td><td>更新日時</td></tr> <tr><td>8</td><td>koushin_userid</td><td>更新者ID</td></tr> </table>	No.	項目名	格納値	1	eventId	地震イベントID	2	originTime	発生日時	3	max_shindo	最大震度	4	shinnouName	震央地名名称	5	shinnouLat	震央緯度	6	shinnouLon	震央経度	7	shinnouDepth	震源の深さ	8	magnitude	マグニチュード	9	touroku_dt	登録日時	10	touroku_userid	登録者ID	11	koushin_dt	更新日時	12	koushin_userid	更新者ID	No.	項目名	格納値	1	eventId	イベントID	2	prefCode	都道府県コード	3	cityCode	市区町村コード	4	shindo	市区町村最大震度	5	touroku_dt	登録日時	6	touroku_userid	登録者ID	7	koushin_dt	更新日時	8	koushin_userid	更新者ID
No.	項目名	格納値																																																																		
1	eventId	地震イベントID																																																																		
2	originTime	発生日時																																																																		
3	max_shindo	最大震度																																																																		
4	shinnouName	震央地名名称																																																																		
5	shinnouLat	震央緯度																																																																		
6	shinnouLon	震央経度																																																																		
7	shinnouDepth	震源の深さ																																																																		
8	magnitude	マグニチュード																																																																		
9	touroku_dt	登録日時																																																																		
10	touroku_userid	登録者ID																																																																		
11	koushin_dt	更新日時																																																																		
12	koushin_userid	更新者ID																																																																		
No.	項目名	格納値																																																																		
1	eventId	イベントID																																																																		
2	prefCode	都道府県コード																																																																		
3	cityCode	市区町村コード																																																																		
4	shindo	市区町村最大震度																																																																		
5	touroku_dt	登録日時																																																																		
6	touroku_userid	登録者ID																																																																		
7	koushin_dt	更新日時																																																																		
8	koushin_userid	更新者ID																																																																		
5 リターンコード(status)																																																																				
No.	設定値	エラー内容																																																																		
1	0	成功																																																																		
2	1	失敗																																																																		
3	9	該当データ無し																																																																		

システム名

災対用ビル別情報マップ

章番号

第3章 機能設計書

機能名

3. 1. 3 地図機能

画面名

別紙 参照権限制御

ユーザマスタTBL. ユーザレベルにより出力されるデータの制限を行う。

No.	ユーザレベル	項目
1	本社	制限なし
2	支店	制限なし
3	グループ会社	地図機能で参照される全てのデータ※について、ログインユーザの組織名に紐付くデータのみを表示する。

※

ビルアイコン

検索機能の検索結果

バックアップ機能で出力されるビルデータ、備蓄品データのCSVファイル